

錦織監督

映画の現場から



●●58

## メイドインイズモ

EXILEといえは今、日本で最も輝いているアーティストだ。ドームツアーなどのライブに行くと、そのファン層は幅広い。20〜40代を中心に小学生から還暦を過ぎた紳士・淑女まで、多くの観客を魅了している。他にはない本物のパフォーマンスは、一度観たらみんなを元気にする。

昨年末のNHK紅白歌合戦に出演した三代目J Soul BrothersやEXILEの魂を受け継ぐEXILE TRIBE(一族)として活躍が目覚ましい。

映画「渾身」で主演していただいた青柳翔さんは「劇団EXILE」のリーダー。音楽シーンのみならず、映画やドラマなどエンターテインメントの世界に、一族の仲間が活躍の場を広げている。

「渾身」の縁でEXILEのリーダー、HIROさんと出会った。「多くの人に笑顔を」というHIROさんの思い。それぞれの道

# 世界に誇れる本物存在

をスティックに極めようとするメンバーの姿勢。本物のエネルギーに触れ、私もEXILEの虜になった。ドームツアーの動員数が年々伸びているのも当然だ。いずれ日本を飛び出し、世界のEXILEになるだろう。

島根には世界に誇れるものがたくさんあり、それが

さりげなく存在している。有名であろうがなからうが、本物は本物だ。

神事と歌、舞、音曲は切っても切れない。古代から踊りや音曲によって人は神とつながってきた。出雲の阿国は初めて踊りで民衆の心を掴み、歌舞伎へとつながっていった。だからEXILEのUSAさんは、ダ

ンスアースジャパンというプロジェクトを出雲からスタートしてくれた。

私はHIROさんに「一度出雲に来てほしい」と話した。すぐに「行きましよう」となり1月31日(旧暦の元旦)に実現した。本人の希望でプライベートな静かな出雲入りとなった。

HIROさんは翌2月1日、玉串を手に出雲の大神に祈りをささげた。その強い思いは、今までがそうだったように近い将来、確実にながうに違いない。世界中の人と、思いもよらない縁のつながりが広がっていくことだろう。

一緒に、奥出雲の日刀保たたら現場を見学した。技師長に当たる村下の木原明さんたちの世界に誇れる技術(パフォーマンス)を目の当たりにし、たたら映画を世界に、とあらためて思った。

出雲出身の映画監督として声高に、世界に行く、と宣言するのは少し気恥ずかしい気もする。だが、HIROさんとなら世界も夢ではない、と本気で言いたくなる。そんなエナジーがHIROさんには満ち満ちている。



出雲大社でHIROさん(左から6人目)と2月1日、出雲市大社町杵築東

(錦織良成・映画監督)

第4金曜掲載